

# 琵琶湖漁業の改革について

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



14 海の豊かさを  
守ろう



- “儲かる漁業” への転換のため、湖沼漁業改革に資する国事業の創設および利用に関する支援ならびに情報提供など、総合的な支援をお願いしたい。

【提案・要望先】 農林水産省

## 1. 提案・要望内容

### (1) 漁協統合にかかる技術的な支援

- 漁業組織の再編・統合に関する技術的な支援の継続

### (2) 湖沼漁業の振興に係る支援

- 漁業組織の人材確保を通じた流通・販売体制強化のための支援
- 湖沼漁業における操業効率化のための新規漁法導入等に対する支援

### (3) 資源管理の高度化に係る支援

- 資源管理の高度化に必要な予算の確保
- 漁業と遊漁の総合的な資源管理手法の検討に係る技術的な支援

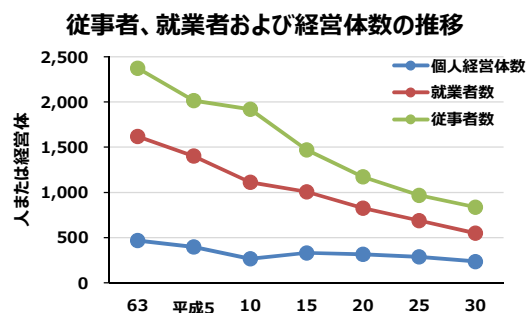
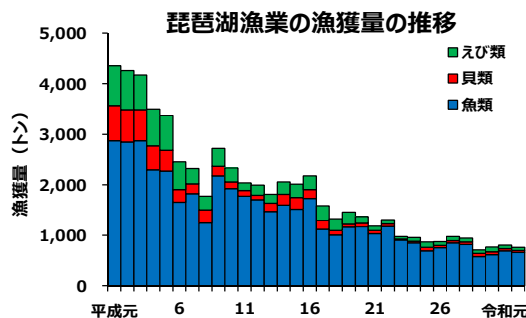
## 2. 提案・要望の理由

- 琵琶湖漁業の魅力を高めて次世代につなぐため、一人ひとりが精鋭となる“儲かる漁業”への転換が必要。
- 2030年のあるべき姿を漁業者1人あたりの年間水揚高1,000万円と掲げ、令和3年度から10年間を集中的な改革期間として、「漁協統合」、「流通改革」、「資源管理」を推進し、琵琶湖漁業を体系的に改革。
- 漁業者と行政が一体となってこれを進めるには、国の取組の積極的な活用が必要。
- 令和3年度より取組を進める中で、漁業組織力、操業効率、遊漁を含めた資源管理に課題があることが浮き彫りに。
- 現在も支援をいただいている資源増殖・担い手対策・外来生物対策に加え、湖沼漁業改革に資する国事業の創設および利用に関する支援ならびに情報提供など、総合的な支援をお願いしたい。

## (本県の取組状況と課題)

### (1) 琵琶湖漁業の現状

- 漁獲量と漁業従事者の減少が顕著。



- 湖沼漁業特有の課題が、儲かる漁業への転換の足かせに。

- ◇ 生産量<sup>少</sup> + 組織力<sup>弱</sup>、販売力<sup>弱</sup>、経営指導力<sup>弱</sup> = 相対取引中心
- ◇ 伝統漁法中心、開発遅れ = 操業効率<sup>低</sup>

### (2) 改革のための取組 (県)

#### ① 組織再編

「漁協経営基盤強化対策支援事業」(水産庁)を活用し、滋賀県漁連が中心となり県1漁協への合併を目指し検討中。

#### ② 担い手の育成

担い手の販売スキル向上のための意識醸成、学びあいの場の提供および、就業者の受け入れ体制の整備。漁家子弟の漁業離れが深刻であり課題となっている。

#### ③ 流通改革

漁業組織が経営スキルの強化を目的に、新たな流通モデルの検討・実践を行う取組を支援。組織再編の動向を踏まえ、新たな浜プラン等の策定・活用を検討。

#### ④ 漁業の効率化に向けた取組

既存漁法の効率化や新規漁法の開発、漁獲物の鮮度向上など技術面から漁業者を支援する「水産技術相談窓口」を水産試験場に新設。

#### ⑤ 資源管理の高度化

- ◇ 国の支援を受け、漁業者がスマホ等から漁獲情報を報告できるアプリを令和3年度に構築。本年度より本格稼働し、資源評価等に活用。
- ◇ 資源管理対象種の拡大。ニゴロブナ・ホンモロコ・セタジミ・アユ・ビワマス(拡大)
- ◇ ビワマス遊漁を海区漁業調整委員会指示の承認制で管理する中、コロナ禍で人氣に拍車。漁業と遊漁の包括的な資源管理が急務。

担当：農政水産部水産課漁政係、水産振興係、漁場環境・資源係  
TEL 077-528-3872、3873、3874